

病態病理学系病理学分野

1. 研修目的

○診療上必要とされる病理学の基本的な知識・技術を修得し、さらにチーム医療における他の医療スタッフとの強調性を身につけ診療に活かすことができる医師の育成を目的としています。

○（社）日本病理学会認定病理専門医を取得

日本病理学会では、病理診断ならびに病理解剖（剖検診断）を行い、専門的医療情報を提供しチーム医療の一員として質の高い医療を行なう病理医に対して、病理専門医認定試験を行います。合格者に病理専門医資格が与えられます。

当講座では、病理専門医を目指す若い医師のための研修プログラムを実施しています。

資格：研修開始時点で医師免許取得後2年以上の者

身分：専修医あるいは大学院

待遇：日本大学医学部後期専修医制度に準じた給料（大学院は除外）

年限：最低4年

2. 研修病院・研修担当

○研修施設

日本大学医学部附属板橋病院

駿河台日本大学病院

日本大学医学部附属練馬光が丘病院

○関連病院

社会保険横浜中央病院

横須賀市立市民病院

板橋医師会病院

東松山市立市民病院

聖路加国際病院

川口市立医療センター

埼玉県立小児医療センター

都保健医療公社東部地域病院

上尾中央総合病院

○指導医リスト

日本大学医学部附属板橋病院病理部部长	根本則道
日本大学医学部附属板橋病院病理部生検室長	生沼利倫
日本大学医学部附属板橋病院病理部剖検室長	楠美嘉晃
駿河台日本大学病院病理部科長	絹川典子 指導医数1名
日本大学医学部附属練馬光が丘病院病理部科長	逸見明博 指導医数1名
病理学分野 教授	杉谷雅彦
病理学分野 教授	増田しのぶ 他病理専門医・指導医6名

3. 研修内容

病理専門医に必要な基礎ならびに専門的知識と技能を、病理解剖を含む日常の病理診断業務を介して身につける

- 日本大学医学部附属3病院（板橋、駿河台、光が丘病院）における病理部業務（診断業務、病理解剖）
- 病理部で開催されるカンファレンスや抄読会への参加
- 毎月開催される病院CPC、臨床各科との間で開催されるCPCへの参加
- 日本病理学会及び関連学会等への参加・発表
- 各自の研究と学位（医学博士）取得

4. 研修日程

○研修日程

後期研修1年目

- インストラクターの下で、病理解剖の手技や技術を学ぶ
- インストラクターの下で、生検業務での臓器の切り出しと病理診断を習得し、診断報告書を作成する（6ヶ月の生検室での業務）
- CPCへ参加する

後期研修2年目

- 病理解剖をおこない、最終剖検報告書を作成する
- 生検業務での臓器の切り出しと病理診断を習得し、診断報告書を作成する
- 研修病院での病理解剖と病理診断をおこなう
- CPCへ参加する

後期研修3年目

- 研修病院での病理解剖と病理診断をおこなう
- 関連病院での病理解剖と病理診断をおこなう
- CPCへ参加する

- d) 死体解剖資格認定医取得（厚生省）
- e) 学会発表と論文作成を修得する

後期研修 4 年目

- a) 研修病院での病理解剖と病理診断をおこなう
- b) 関連病院での病理解剖と病理診断をおこなう
- c) 学会発表と論文作成
- d) 病理専門医の取得（（社）日本病理学会認定病理専門医）
- e) 基礎研究を開始する

後期研修 5 年日以降

研修病院・関連病院での剖検を含めた病理診断業務に加え、研究を進め、学位取得をめざす

○スタッフに準じた休日・休暇が取れます

5. 研修終了時における待遇

専修医：大学よりの給与に準ずる、ならびに週 1 回の外勤

大学院生：無給、週 1 回の外勤

病理専門医には、大学や研修指定病院病理部のスタッフへの道が開かれます

6. 問い合わせ

日本大学医学部 病態病理学系病理学分野 内線 2256・2257

E-mail：nemoto.norimichi@nihon-u.ac.jp